

TV 離れとインターネットの普及の関係性

横田脩平(221x125x)

1.Introduction

現代社会において若者の TV 離れは深刻となっている。これは日本に限った話ではなく世界的なものである。日本においてはテレビの平均視聴時間は 2000 年代にピークをむかえ,2010 年代以降は減少傾向にある。NHK の国民生活時間の調査に寄れば,日曜日にテレビを見る時間は 10 代男性が 1995 年に 3 時間 34 分から 2005 年には 2 時間 52 分に減少している。おそらくこのまま TV は衰退の一途を辿るであろう。その原因としてあげられるうちの一つがインターネットの普及である。Youtube に代表されるような動画配信サイトだけでなく,Netflix や Amazon Prime ビデオなどのサブスクリプションに視聴者を奪われてしまっていると言われている。本レポートでは,インターネットの普及と TV 離れの関係性について検証していく。

2.Method

本レポートでは,TV とインターネットの関係性を利用時間と行為者率のデータを可視化することで検証していく。ここで行為者率とは,1 日の中での該当の行動を 15 分以上したひとが全体に占める割合のことである。参考にしたデータは令和 3 年版 情報通信白書の主なメディアの利用時間と行為者率から抜粋した。各年毎の利用時間を折れ線グラフに,各年毎の行為者率をバタフライグラフにして表示した。また,全年代,10 代,20 代,30 代,40 代,50 代,60 代の 7 つのデータを個別に表示するためにスライドバーを用いて表示するデータの年代を変更できるように工夫をした。いずれのグラフも赤色が TV,青色がインターネットとして可視化を行った。

3.Result

それぞれの年代についての可視化を行った例を以下の Figure1 ~ Figure.7 に示す。まず全年代のデータを見るとインターネットの利用時間は 2016 年から増加し続けており,2020 年には TV の利用時間を超えてしまっている。しかし,TV の利用時間は 2016 年~2020 年まででほとんど変化がない。TV の行為者率を見ると 2020 年の行為時間は 2018 年に比べるとむしろ増加していることがわかる。次に年代別利用時間を見てみるとインターネットの利用率はどの年代でも増加し続けていることがわかる。しかし,TV の利用時間は 10 代~40 代はわずかに減少しているものの,50 代~60 代では 2020 年では 2016 年よりわずかに増加していることがわかる。また,60 代のインターネットの行為者率は TV の方が高い

ことがわかる。

TV-user and Internet-user

RED:TV

BLUE:Internet

全年代

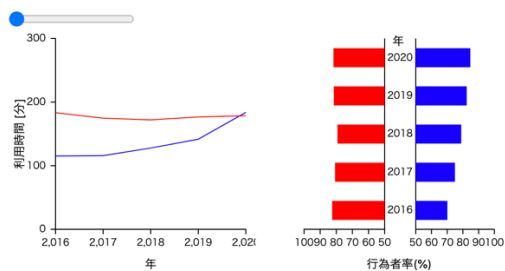


Figure.1

TV-user and Internet-user

RED:TV

BLUE:Internet

10代

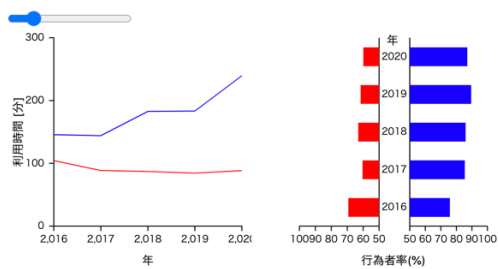


Figure2

TV-user and Internet-user

RED:TV

BLUE:Internet

20代

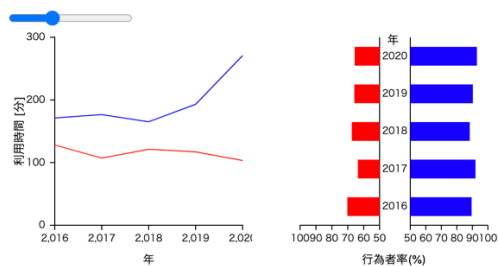


Figure.3

TV-user and Internet-user

RED:TV

BLUE:Internet

30代

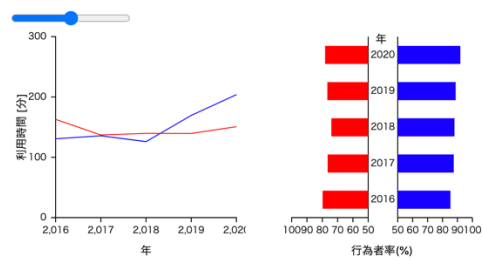


Figure.4

TV-user and Internet-user

RED:TV

BLUE:Internet

40代

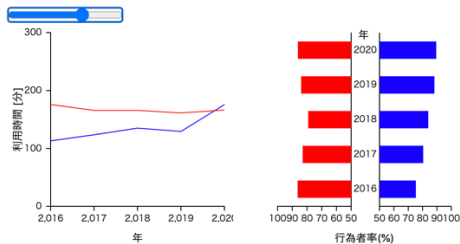


Figure.5

TV-user and Internet-user

RED:TV

BLUE:Internet

50代

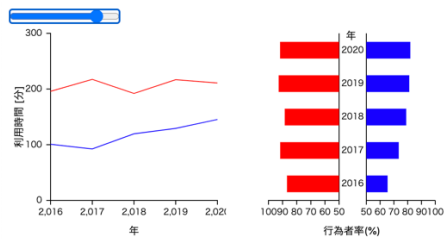


Figure.6

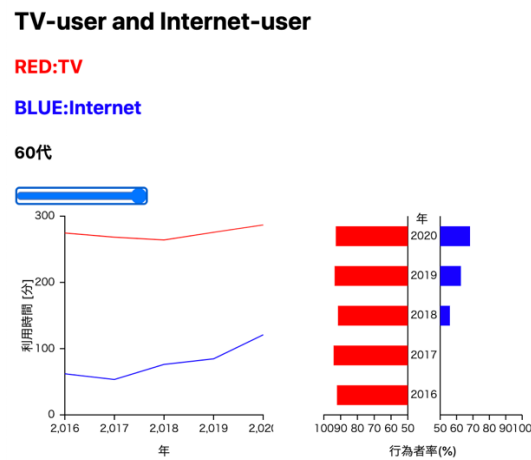


Figure.7

4.Discussion

全体として,2020 年では TV とインターネット両方の利用時間が増加傾向にあるが,これは,コロナ禍により家にいる時間が増えたからではないかと考える。可視化したデータから確かにインターネットは年を追う毎に普及していることは間違いない。しかしながら TV の視聴時間はあらゆる年代において問題視されるほどの変化が見られなかった。60 代に限ってみれば TV は未だ主たる娯楽として普及していることがわかる。このことから TV 離れと言われているのは TV の利用時間が減ったのではなく,インターネットの利用時間が増えただけなのではないかと考えられる。

5.Conclusion

TV とインターネットの利用時間と行為者率を可視化することで,TV 離れの原因がインターネットの普及によるものなのかを検証した。しかし,実際には TV の利用時間はあまり減少していないことがわかった。このことから TV 離れを言われている原因は昔よりもインターネットが普及したことにより,TV があまり見られなくなっていると錯覚していることではないかと考える。

6. Reference

- 令和 3 年版 情報通信白書 | 主なメディアの利用時間と行為者率
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242510.html>
- 若者の「テレビ離れ」は衝撃的か? 調査データから見える、今どきの若者の生活習慣
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2106/14/news060.html>